



原材料は

米と水だけ

無添加

西会津産
減農薬コシヒカリ使用
白 粥 (五分粥)



1缶300g白粥

夫婦茶碗に1杯ずつの量です

**上の方は、重湯になります
赤ちゃんの離乳食にも最適です**



缶切りがいらぬプルトップ

おかゆ缶詰は
ガス・水道・電気がない非常時に
最適な食品

炊き出しを食べることができない
赤ちゃん・病人・高齢者の方に最適



注：梅干しはついていません

もしも、
非常時におかゆの缶詰が
必要になったときに
2人でしたら
1日3食
おかゆの缶詰にすると
1ヶ月で
3缶×30日=90缶

100缶あれば
安心ですね
ご近所の方にも、
お届けできます



空き缶を利用して
ろうソクの燭台に

【米と水のプロジェクト】

平成23年3月11日 東日本大震災後、被災地の方々が、食事で苦勞されているためおかげの缶詰をつくってお届けしました。

皆様のご支援で、10,000個のおかげの缶詰を届けることができました。このプロジェクトは、キノコハウスのCSR (Corporate Social Responsibility) として、続けていきたいです。

本来このプロジェクトの目的は以下でした。(平成23年2月20日記述)

「私のふるさととは大都会の東京。自分のふるさとの何か役に立ちたいなあ。もしも大都会に災害が起こって、食糧がなくなったら・・・。私は身近に「米と水」がある。そんなことを真剣に考えるようになりました。そして、災害時に役に立つように、「おかげの缶詰」をつくろうと思いました。そして、うちの最高のお米で、何回も何回も試作して、お米と水のバランスが一番美味しいものに決定しました。賞味期限は3年ですから、非常用にもなります。缶は缶切りのいらないプルトップのスタイルにしました。常用にも、非常用にもなるように皆様にお届けしたいと思います。もしものときのために、ご家族（とくに災害時の炊き出しが不向きな赤ちゃんやお年寄りのいるご家庭）の食糧を、どうか、備蓄しておいてください。赤ちゃんやお年寄りには「かんぱん」のようなものは、やさしくないように思います。お米も非常時には、電気もガスも水道もなければ、食べることができないと思いますから、やはり缶詰がいいと考えます。「**備えあれば憂いなし**」ですね。

平成23年2月21日福島県にしあいつ道の駅「よりっせ」で「おかげの缶詰」を販売開始しました。非常時の、自分の家族の食糧は、自分達で確保しておきませんか。さらに、お隣さんや地域住民の方々の食糧も確保しておいてくださる方はいませんか？もしものときのための食糧を、私は、地域のお寺さんに備蓄していただきたいと考えています。この「米と水のプロジェクト」に賛同していただける方がおいででしたらご連絡ください。「みんなのおかげ」が非常用ではなく、常用として役立つことを心から願っています。

キノコハウス 代表 佐藤昭子



フィリピンの台風の時に支援物資として、航空便で送らせていただきました
現地のボランティアスタッフの方々が配ってくださいました
ありがとうございました